

平成 20 年 6 月 3 日
消 防 庁

平成 19 年中の危険物に係る事故の概要の公表

消防庁では、全国で発生した危険物等に係る火災事故及び漏えい事故の把握を行うため、各都道府県から報告される「危険物製造所等の定期事故報告」に基づき、平成 19 年中の危険物に係る事故の概要を取りまとめましたので公表いたします。

平成 19 年中の事故概要の特徴

○ 危険物施設における事故発生件数

	19年中	18年中	増減	備 考
火災事故	169	223	▲54	事故全体の件数は、前年より14件の増加となり、統計を取り始めて以来過去最高となっています。
漏えい事故	443	375	68	
事故全体	612	598	14	

(注)平成 19 年能登半島地震及び新潟県中越沖地震によるものを含む。

○ 事故の発生原因

火災事故については、「管理不十分」が 30.2%（前年 26.0%）、漏えい事故については、「腐食等劣化」が 37.7%（前年 32.5%）と昨年に引き続きそれぞれ事故原因の第一位となりました。

また、火災事故については、「確認不十分」や「不作為」の人的要因に係る原因が上位を占めています。

<資 料>

- ・ [「平成 19 年中の危険物に係る事故の概要」](#)（別添）



連絡先 消防庁 危険物保安室
加藤課長補佐
仲田係長
齋島事務官
TEL 03-5253-7524(直通)
FAX 03-5253-7534